



ラージヒルで担当課長より説明を受ける(9月8日)

ジャンプ競技場に 国際基準施設に

決算審査での一環で、銀嶺団体に備えて改修が行われたジャンプ台を視察。今回の改修で滑走面が凍結される設備が施され、国際基準に合った施設となった。

人口減少対策は急務

大北市町村議会議員が研修会
(10月4日)



人口減少問題は大北1市1町3村の共通の課題。魅力ある地域にしていくために広域連携は欠かせない。

当村が担当で大北市町村議会議員研修会を開催。総務省から派遣されている藤本白馬副村長による「持続可能なまちづくりとしての地方創生の推進」と題した講演で、当地域において人口減少対策は、避けられず急務であることを再認識。終了後は、グリーンスポーツでマレットゴルフを行い、団体戦は今年も松川村が優勝。当日は気温が低く寒さに震えながらのゲームであったが、有意義な交流会になった。

オールシーズン観光の 未来に期待!

白馬・小谷議会議員連絡協議会を
八方尾根で開催(9月26日)



ここではガイドが丁寧に蛇紋岩や植生に関して説明してくれる。(八方尾根高原)

グリーンシーズンに力を入れている、八方尾根開発(株)様の北尾根高原を視察。全ての来訪者に現地案内を細かくしている会社の営業方針に感心した。その後の座学では、八方尾根開発(株)の倉田保緒社長と丸山直樹専務に、「八方尾根開発の現状と今後の取り組みについて」と題して講演をいただいた。特に商品開発事業や北尾根高原の創設、さらには生きがいをもって100歳まで活躍するための「100活」の提唱など、様々な事業の展開とチャレンジ精神に、白馬のオールシーズン観光の未来が期待されている。

インバウンドでの活性化策、広域連携を学ぶ

白馬村・糸魚川市・小谷村・議会議員
連絡協議会を開催(7月31日)



糸魚川市からの要望でインバウンド事業の研修を実施。糸魚川-白馬間は「日本酒が飲める観光列車を」とケビン講師が提案。

初めに「白馬森のわさび農園」田中末春社長に農園の説明をしていただき、現地見学。その後白馬47スキー場に移動。ゴンドラ頂上駅舎内の会場で(有)JHNトラベル モラード・ケビン代表取締役社長から「白馬のインバウンド事業について」と題して、白馬47スキー場 太田達彦代表取締役社長より「経営者から見た白馬の観光について」、企画営業部の前田氏からは「白馬47スキー場の運営とインバウンドの受入について」と題して講演いただいた。



表紙の写真説明

10月1日にスノーハープ競技場で行われた白馬マウンテンバイク大会。地元出身、エリート男子の部で優勝した平林安里選手、ジュニア男子の部で優勝した北林力選手(写真中央)と、この日参加した白馬マウンテンバイククラブの子供たち。彼らにとって大きな目標となりそうな両選手だ。ガンバレ! 平林選手、北林選手。

ご意見を
お寄せください。

85-0725(直通)
72-7001(ファックス)

むらの未来が見える
(9月定例会の傍聴者延べ23人)

議会傍聴においでください
次の定例会は 12月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます